



# さくら

題字 足立区長 近藤 やい  
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会  
会長 小久保 隆  
編集 広報委員会  
発行日 2019年7月1日  
〒120-8510  
足立区中央本町1-17-1  
TEL 03-3880-5870

## 目次

|                |   |
|----------------|---|
| 民生・児童委員 PR 週間  | 2 |
| さくら感謝状贈呈式      | 3 |
| 委員会・部会報告       | 4 |
| 各種表彰受賞者祝賀会     | 5 |
| 「子どもたちはいま」シリーズ | 6 |
| 「ぶらり足立」        | 7 |
| 新旧福祉管理課長挨拶     | 8 |
| 編集後記           |   |



「鉄鋼スラグの未来、海中共生自然都市」 興本小 6年 上原 啓太 作

## 創刊50号を祝して



足立区長 近藤やよい 上げます。

足立区民生・児童委員協議会だより「さくら」が創刊50号という大きな節目を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

2003年の創刊から16年、「さくら」には民生委員・児童委員の皆様の活動紹介をはじめ、地域に着目した様々な記事が掲載されてきました。これら全ての記事には足立区民生・児童委員協議会の歴史が刻まれており、まさに歴史書として活用されていると伺いました。50号という長きにわたり歴史を受け継がれてきた編集委員の皆様をはじめ関係者の皆様に改めて敬意を表します。

さて、平成30年の区内刑法犯認知件数は5,230件で、62年ぶりの5,000件台前半を達成し、前年比でもマイナス1,403件と大幅な減少となりました。この数

字は、区民の身近な相談者として社会福祉の増進、明朗で健全な地域社会づくりに努められ、民生委員・児童委員信条を実践されている皆様のご活動があってこそ成し遂げられたものです。皆様の弛まぬ活動と安全・安心な地域づくりへのご尽力に心より感謝申し上げます。

一方、少子高齢化の急速な進展により、単身世帯の増加など様々な課題が顕在化しています。区といたしましては、これらの課題解決に向けて、地域福祉を推進するための様々な施策に取り組んでまいりますので、これからも民生委員・児童委員の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

これからも新たな歴史を紡ぎながら、脈々と「さくら」が受け継がれていくとともに、さらなる発展をご祈念いたします。



## 式典・アトラクション

5月18日(土)庁舎ホールにおいて、近藤区長をはじめ多くの来賓の方が出席され、各地区の民生・児童委員参加のもと、式典が開催されました。

オープニングは、千寿双葉小学校の金管バンドの皆さんの「銀河鉄道999」ではじまりました。演奏は全3曲で、曲の間に、楽器の特性の紹介があるなど、楽しい企画でした。

その後は、小久保協議会会長の主催者側挨拶、来賓として近藤区長の挨拶に続き、有馬康二町会・自治会連合会会長、只野裕一相馬

市社会福祉協議会会長の挨拶がありました。

感謝状の贈呈式では、本紙「さくら」に絵画・俳句・短歌が掲載された作品のスライド紹介があり、14名の小学生、中学生に区長から感謝状が手渡され、記念撮影となりました。

イベントの最後は、只野裕一相馬市社会福祉協議会会長の娘さん、只野なつきさんのピアノコンサートで、メンデルスゾーンの「春の歌」や「さくらさくら」など、和洋取り交ぜた5曲を演奏され、好評のうちに閉会となりました。



▲演奏中の 只野なつき氏



▲右から宮崎前協議会会長、只野なつき氏、只野裕一氏、小久保協議会会長



千寿双葉小金管バンドの皆さん



## 民生委員・児童委員活動普及・啓発パレード

5月12日(日)民生委員・児童委員活動普及・啓発パレードが『みんなでつくろう 地域のつながり 支え合い』をテーマに、新宿三丁目交差点からJR新宿駅東口広場まで行われました。

このパレードは、適切な支援に繋がっていないために生活のしづらさを抱えた方々、また近隣のSOSに気付いた方の相談先としての民生・児童委員を知っていただけるよう、都内全域の民生・児童委員1400人余が集結し、広くアピールする目的で行なわれました。



## お疲れ様でした。PR実行委員の皆さん



実行委員長 森春枝  
副実行委員長 小宮俊一郎・北島小夜子  
相談役 小久保隆・市村智・野辺陽子・山本祥一  
特別相談役 横山堂侑

鈴木周一・大熊純子・江川明美・種村真弓・富澤久男  
小野由美子・矢澤敏臣・大西仁子・京谷信子・  
重城陽子・大竹吉男・島田桂子・大関由紀江・林浩治  
宇田川毅・南純代・鈴木健治・馬場伸子・山本信子  
水野静子・市川欣也・本郷美智子・堀公子・金杉守  
齋木安江・清水康弘・益塚賢治

今年も5/12の「民生委員児童委員の日」にあわせ、5/13～18の1週間PR事業を行いました。  
1週間で約4,320人の方にご来場いただきました。

## 集

## 広報紙さくら 感謝状贈呈式



本紙「さくら」47号から49号に絵画・俳句・短歌を掲載させていただいた小・中学生への感謝状贈呈式が行われました。

リハーサルでは担当者が『貴重な体験なので楽しんでね』と、絶えずにこやかに緊張をほぐしていました。

本番の庁舎ホールでは、定野教育長はじめ田村小学校校長会会長、武田中学校校長会会長、そしてたくさんの来場者が見守るなか、小学生8名・中学生6名は近藤区長から感謝状、小久保協議会会長から記念品を手渡されました。

記念撮影では近藤区長が子どもたちの足元を気遣う優しい姿に、子どもたちは顔を緩めていました。

鶴田広報委員長はお礼のことばの中で、今日は絵画をすべてカラーで見ていただいた喜びを述べ『50号からはすべてカラー化になる予定』と、嬉しい報告をしました。

最後に、山崎広報書記より「さくら」の心を和ませる子どもたちの作品は、小・中学校の協力があってのことと感謝の辞があり、贈呈式は閉式しました。

(広報委員会 記)



▲ 小学生の皆さん



▲ 中学生の皆さん



### 消防コーナー

### 福祉作業所販売



### キッズコーナー

今年は木工ゴーカート製作、スマートボール、マンカラ、ぬりえ・折り紙。人気は木工ゴーカートで、自分で作った車を特製レーンで走らせ、盛り上がっていました。

マンカラは大人がはまり、スマートボールは10点以上に賞品がありました。(広報委員会 記)



### ～アトリウム イベント～

アトリウムに入ると、笑顔の民生・児童委員の方々が来場者をお迎えしていました。まず、受付を済ますと福島県相馬市の観光PRコーナーがありました。相馬市は震災後まだまだ復興途上ではありますが、「相馬野馬追」「みちのく潮風トレイル」など多くのイベントが目白押しです。当日、ブースに来られた相馬市観光協会の方からは、皆さまに遊びに来て楽しんでほしいとお話がありました。

その先には、数々の福祉作業所のブースがあり、パンやお菓子、おはぎまでありました。大きな声で売り込みをして、慣れない販売を一生懸命にしているのが、印象的でした。手作り雑貨は、丁寧な作業なので温もりが伝わってきます。毎回、このブースを楽しみにしている方が多くいらっしゃいます。また、消防コーナーもあり、毎回大好評のちびっこ消防士になりきったり、消火器の使い方など楽しみながら消防活動を体験しました。

PR週間期間中は、民生・児童委員による相談コーナーが開設され、多くの方が来場し相談されました。そして、民生・児童委員の歴史や役割をパネル展示で紹介しました。大盛況のうちに第8回PR週間は、閉会いたしました。(広報委員会 記)



## 委員会・部会報告



【子育て支援研究部会 鈴木淳部会長】

不登校児童・生徒への支援充実、妊娠期から乳幼児期に対する支援、最新の区における子ども・子育て支援制度について知識を深めました。子ども食堂、子育てサロン等の施設見学を合同ごとに行い、見学報告を行うことによって情報共有を図りました。



【障がい者福祉研究部会 羽住圭規部会長】

障がいを持った方が、社会に出るまでの流れを学ぶことを目的に「都立南花畑特別支援学校」「都立城北特別支援学校」「(株)エフピコダックス茨城選別工場」の施設を見学し、発達障がいのお子さんとの関わり方、障がいを持つ児童の学校での様子、社会に出て活躍している様子を実際に見て学びました。



【高齢者福祉研究部会 岩戸順子部会長】

「高齢者の福祉に関し、関係機関との交流により、民生委員としての自己研鑽および地域社会の福祉推進に貢献する。ひとり暮らしの高齢者が住みやすいまちづくり」をテーマに活動しました。民生委員に求められている役割や認知症高齢者との関わり方、ふれあいサロンの重要性を学びました。



【広報委員会 鶴田晴久委員長】

「足立区民児協の活動を広くPR また行事の取り組み」「学校・町会・自治会などの地域活動」について広報紙「さくら」に記載紹介。小学生の絵画・中学生の俳句や短歌を掲載し、PR 週間事業において感謝状を贈呈。平成30年度はダイジェスト版を含み4回発行。今後は、全号カラー化を目指し、読みやすく、親しみやすい広報紙を作っていきます。



【児童福祉研究部会 小泉博部会長】

社会的養護、特に里親制度に焦点をあて勉強をしました。養護を必要とするきっかけは何なのかを知るため、足立児童相談所の方から講義を受け、実際に里親をしている方のお話を伺ったり、児童養護施設の見学で、理解を深めました。



【生活福祉研究部会 高波国男部会長】

2025年問題「高齢者福祉の課題と対策」、ケースワーカー事例研修会「生活保護の実例」、子どもの貧困対策「区の取り組みの成果と課題」等を受講、福祉事務所や自立支援施設「足立寮」を見学、現場の様子を見聞し、多種多様な生活困窮者への自立・生活支援の取り組みについて、見識と理解を深めました。



【主任児童委員会 首藤広行委員長】

今の子ども達は、いじめ・不登校・非行・虐待と様々な問題に直面しています、あらゆる児童の相談に応じ、民生・児童委員と協力をし、問題解決に取り組んでいます。また、行政機関と意見交換や積極的な情報公開を求め、素早い連携で、事態の改善に結びつくよう努力し、居場所作りの提供など、良い生活が身に付くよう、体制を構築していきます。



【コーラス部 野間 一夫 部長】

今年の7月で創部5周年を迎えます。32名の部員で楽しく活動をおこなっています。田口先生ご指導のもと、着実に前進をし、慰問をはじめとした合唱活動を推し進めています。平成30年11月13日 杉並公会堂でおこなわれました「都民連100周年記念合唱コンサート」に出演しました。



## 平成 30 年度 各種表彰受賞者祝賀会



梅花咲く暖かな2月7日、平成30年度足立区民生・児童委員協議会各種表彰受賞者祝賀会が浅草ビューホテルで民生・児童委員と多くの来賓の方々にご列席いただき開催されました。

叙勲（瑞宝単光章）、全国社会福祉協議会会長表彰、東京都知事表彰、全国民生委員児童委員連合会会長表彰を延べ168名の民生・児童委員（受賞者は前号に記載）が受賞されました。国歌斉唱に始まり信条朗読、小久保協議会会長の主催者挨拶、来賓挨拶で近藤区長、かねだ区議会議員、寺田晃弘東京都民生児童委員連合会会長からご祝辞をいただきました。

区長は祝辞に加え「人生100年時代、在宅での介



護、医療を視野にいれていかなければならず、多くの人に安心して住み続けられるための一番の礎は人と人との絆であり、それには手と手の間をつないでいくのは人の気持ち、一声かける心遣いです。民生活動が孤立ゼロプロジェクトなど、これまでの地域に貢献していることに感謝いたします。これからも誇りを胸に抱いていただき、ますますの活躍を期待します」と述べられました。続いて受賞者を、お一人ずつ紹介し壇上で区長を囲み記念撮影を行いました。

受賞者代表挨拶では、花畑地区中崎幸子会長が「関係者の皆様そして地区の民生・児童委員の仲間、また私たちの家族の支えと協力があったからこそ」と感謝の言葉を述べられました。

その後足立区育英資金への寄付贈呈、乾杯歓談へと進み式典は終了しました。

（湧江地区 小川玲子 記）



近藤区長と  
小久保協議会会長

## ボランティアまつり

5月12日（日）今年で第30回の節目を迎えたボランティアまつりが開催されました。式典では、ボランティアまつりの歴史を築き、団体の連携強化と、活動の普及啓発に貢献されたボランティア連合会の顧問である糸井美恵子氏、緑川フミ子氏に対し、近藤区長、中田社会福祉協議会会長連名による感謝状が贈呈されました。

自主製作販売や体験コーナーの会場は、たくさんの人が来場し大盛況でした。抽選会では、期待と緊張が入り混じる中、当選番号が発表されると歓声が上がっていました。

笑顔が絶えず華やかな記念すべきボランティアまつりとなりました。

（広報委員会 記）

## 第23回 こころの健康フェスティバル

### Heart to heart ～みんなで作ろう 地域の輪～

平成31年3月2日、第23回こころの健康フェスティバルが足立区役所庁舎にて開催されました。

開会式では榎本安行実行委員長、近藤やよい区長の挨拶がありました。その後、第十一中学校吹奏楽部の素晴らしい演奏があり、来場した方々を感動させてくれました。講演会では東京医科歯科大学名誉教授、西川徹先生が「こころを支える脳の話～精神疾患を克服するために」をお話し下さいました。

恒例のバザーは大勢の行列ができて販売が開始されると、活況で買いもとめるのも大変でした。販売開始か

ら2時間程で完売となりました。  
売上金・募金の合計金額は530,032

円でした。売上金は全額を足立区社会福祉協議会へ寄付致しました。

バザーの実行委員の皆様お疲れさまでした。

（広報委員会 記）



▲ 大盛況の庁舎アトリウム



## シリーズ「子どもたちはいま」 都立南花畑特別支援学校



平成30年12月18日に、民生・児童委員協議会会長・副会長研修において「特別支援学校のこと、副籍交流のこと、お願いしたいこと」等お話する機会をいただきました。

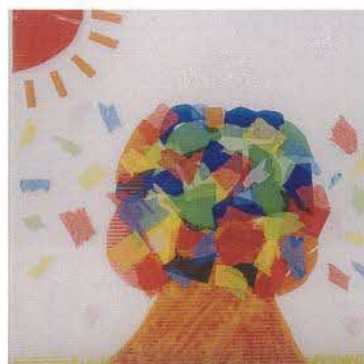
東京都立南花畑特別支援学校は、足立区の南花畑に位置する知的な障害のある児童・生徒の通う学校です。本校の児童・生徒たちは、住居近くの学校へは通わず、スクールバス等で本校に通っています。どうしても、住んでいる地域との関わる機会が減ってしまいますので、地域の小・中学校の児童・生徒と関わりを持つ機会として「副籍交流」をしています。「副籍交流」

では、本校の児童・生徒がお便りを交換したり、帰りの会、行事、給食、音楽や図工・美術の授業に参加したり、保護者と一緒に交流をしています。初めは不安そうにしているも、だんだん素敵な笑顔になります。

民生・児童委員の方々には、ぜひ、本校の児童・生徒が地域で生活していく時に、何かとお力添えをいただければと思います。まずは、「副籍交流」に一緒に同行していただいたり、本校への学校公開等へも足を運んでいただけたりとすると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

(都立南花畑特別支援学校 コーディネーター

古里宏子 記)



「レインボーの木」  
中島根小 4年山口 心ゆう 作

## 町会自治会「地域を訪ねて」柳原北町会

柳原北町会は、北千住駅東口の荒川沿いに位置しています。西日本を横断する異例の進路をとった台風12号明けの平成30年7月29日(日)に青少年部主催、町会後援の『流しそうめん』が開催されました。

午後5時から桜堤中学校に隣接する公園に於いて、下川町会長のご挨拶、小田青少年部長の諸注意のあと盛大に始まりました。乳幼児から中学生、大人まで延べ150~160名の参加がありました。参加者は、そうめんのつけ汁を片手に全長15メートル程の竹筒の前

に陣取り、流されるそうめんをいち早くすくいツルツルと口に運んでいました。猛暑日でしたが、



木陰の下で冷えたそうめんやブ

チトマト、ゼリーを食べている様子は、とても幸せなひとときでした。

この『流しそうめん』の始まりは、柳原小学校が閉校するにあたり、親父の会が行っていたイベントを引き継いだものです。今では、手に入りにくい大きな竹を流し台に使用しています。当日は、20名程の町会役員の方々が、10kgのそうめんを大鍋で茹で、水にさらして氷水で冷やしてから次から次へ流す大変な作業です。

ご厚意で、私も葱、みょうが、揚げ玉の薬味がきいたつけ汁で、冷えたそうめんをいただきました。人生初めての経験で、たくさんの笑顔の中とても美味しく、楽しいイベントでした。これからも永く続きますように願っています。取材へのご協力ありがとうございました。

(常東地区 齋藤祐子 記)

### 「流しソーメン」



## ぶらり足立・大鷲神社 獅子舞

足立区の北端になる花畑に、創建が1200年前となる大鷲神社があります。ここでは足立区指定無形民俗文化財となっている「大鷲神社の獅子舞」が開催されています。昭和の時代は、毎年7月15日に開催していましたが、今では第三日曜日に行うようになったとのことです。(今年は、第二日曜日の14日です。)

大鷲神社を、地元の人々は「お酉さま(おとりさま)」と呼ぶ人が多くいます。また、12月の「酉の市」や、12年に1度の「酉年」の時の大祭が有名です。

獅子舞の歴史は古く、江戸後期の徳川十三代将軍の頃から行われており、天下泰平、雨乞い、五穀豊穡、厄除けとして奉納されるとのことです。

一人立ち獅子が、太鼓を抱えて三匹で踊ります。三匹(三頭)は母親獅子と2人の子ども(長男、次男)

獅子です。舞は6幕構成で、各舞の名前が付いており物語があります。1幕は30~40分で休憩を含めると7時間近く舞います。時代の流れで、最近では女性が獅子を舞うこともあるようです。



大鷲神社近郊での獅子舞としては、大瀬(八潮市)の浅間神社(せんげん様と呼ぶ)と、戸ヶ崎(三郷市)の香取神社があります。

足立区には、鹿浜地区の神社でも三匹獅子舞があります。

(神明地区 矢澤敏臣 記)

## 小学校児童の絵画を地域で掲示

本木ギャラリーは、本木小学校の児童の絵やポスターなどの作品を、保護者や地域の方にも見ていただくための、町の小さなギャラリーです。学校前を通る本木新道沿いの商店や病院など、協力してくださる約20か所に掲示しています。作品はおよそ2か月で差し替え、全学年が年間を通して掲示できるようにしています。

本木ギャラリーは、本木小学校開かれた学校づくり協議会の発案で設けられ、作品の掲示や回収もすべて協議会で行っています。この活動が認められ平成26年11月には「東京都教育の日」において、協議会が感謝状を受けました。

15年以上続く、この本木ギャラリーを地域の方も大変楽しみにしてくださっていて「今回の絵はきれいだね」「次はいつ差し替えなの」などの声がよせられています。現在では学校と地域を継ぐ「かけ橋」となっていて、今後とも続けていけるよう努めています。

(足立区立本木小学校開かれた学校づくり協議会会長 田中実 記)



店頭ギャラリー

### 中学生短歌・俳句コーナー

肝試し 何もいないと 呟くが

帰りに見えた 白い人影

二年 西川 かのん

「久しぶり」 しわが濃くなった 祖母の背が

去年よりも 小さく見えた

二年 八幡 優菜

空の色 絵具で描いた 色のよう

ながめつつかり 心落ち着く

二年 西垣 柚花

せつかな 祖父の方言 夏のなぞ

二年 小倉 氷咲

くずの花 ポツと赤らむ 朝七時

二年 坪内 一真

最上川 舟歌聞きし うろこ雲

一年 征矢 梨花子

### 足立区立第十中学校



## 新旧福祉管理課長 挨拶



### お世話になりました

生涯学習振興公社放課後子ども教室地域担当課長（前福祉管理課長）秋山 稔

社協地域福祉部長、福祉管理課長として6年間、民生・児童委員の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

特に、めぐり合わせとは言え、民生委員制度創設100周年を一緒にお祝いできたことは、生涯において忘れられない出来事と考えています。

役所生活も残り3年となり、この4月からは生涯学習振興公社に勤務しております。

先生方には、これまでと変わらずご指導いただければ幸いです。



「おいしいはくさい」  
本木小 3年 木村 聡佑 作



### よろしくお願いします。

福祉管理課長 秦 章雄

4月1日付けで、区民の声相談課長から、福祉管理課長に異動となりました。福祉部への配属は、昭和62年に新規採用で西部福祉事務所に配属されて以来になります。

福祉管理課長に就任して3か月ですが、足立区の地域福祉は、高齢者の見守りをはじめとした民生委員・児童委員の皆様の様々なご活動に支えられていることを実感しております。

足立区の基本構想では「協創」を掲げております。これからも民生委員・児童委員の皆様のお力をお借りしながら、地域福祉の増進に努めてまいりますので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



「木版画 四角い花」  
本木小 4年 今村 蘭作

〈訃報〉 第二合同 東綾瀬地区主任児童委員 峯岸 道隆（ミネギシ ミチタカ）委員 逝去。ここに謹んで哀悼の意を表します。

### 編集後記

「令和」に改元され、初めての広報紙「さくら」50号が発行されました。

紙面を飾る児童の絵画選びにも、カラー印刷での発行という事で力が入りました。

また「平成30年度各種表彰受賞者祝賀会」をはじめ

「PR週間」など、多くの民生・児童委員の活動を記事にできました。年に3回発行という事で速報性には少し欠けるとは思いますが、皆さまの活動をより広くお伝えしていきたいと思ひます。

（竹の塚地区 金宮和代 記）

- 小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。
- 皆様の原稿を募集いたします。（原稿は未発表のものに限ります）次号発行予定日 11月1日
- 原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

### 広報委員会

|              |                |             |              |             |                |       |            |               |      |       |       |       |       |       |       |      |      |        |       |       |       |       |       |
|--------------|----------------|-------------|--------------|-------------|----------------|-------|------------|---------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 委員長<br>鶴田 晴久 | 副委員長<br>金子 みどり | 書記<br>山崎 秀夫 | 会計<br>丸山 まさ子 | 編集<br>田中 礼子 | レイアウト<br>櫻井 春子 | 齋藤 祐子 | 校正<br>森 葉子 | 編集委員<br>吉田 祐一 | 渡辺 稔 | 福原 健治 | 鈴木 恒雄 | 金川 和子 | 江川 代子 | 星野 明美 | 松浦 恵子 | 上野 剛 | 矢野 敏 | 足立 由美子 | 志賀 博人 | 渡辺 章子 | 小川 玲子 | 益塚 賢治 | 赤羽 月子 |
|--------------|----------------|-------------|--------------|-------------|----------------|-------|------------|---------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|